

まちづくりの将来像

まちづくりのキャッチフレーズ

『美しい水とみどりのなかで、人々が輝くまちづくり』

まちづくりの基本理念

良好なまちづくりを進めるためには、すべての人が安全で快適な生活が送れるよう、効率的な都市活動を行うための社会環境の整備や、生活基盤の整備が必要です。

また、周辺市町村との連携、交流の活性化等、広域的視点に立った都市環境の整備や地域資源の特性・自然環境の保全を図りながら、都市機能を整備する必要があります。

一方、江津市は、美しく豊かな水資源に恵まれ、市街地の背後には緑豊かな自然を残しています。都市の利便性・快適性の向上を求める一方で、今ある豊かな自然環境を保全し、バランスのとれた都市環境の創出を目指します。

今後まちづくりを進めていく中で、行政が一方的に施策を展開するのではなく、まちづくりの主人公である市民の積極的な参加によって進めていく必要があります。

まちづくりの目標

すべての市民が安全で快適に暮らせるまちを創る

都市活動、広域連携・交流を支えるまちを創る

自然と共生できるまちを創る

市民参加を基本としたまちを創る

将来都市構造に基づいた機能的で適切な土地利用の誘導

利便性の高い交通体系の構築

すべての人が安全で安心して暮らせる利便性の高い市街地の形成

みどりと水に囲まれたゆとりある都市空間の創出

自然と都市環境が調和した魅力的な景観づくり

安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくり

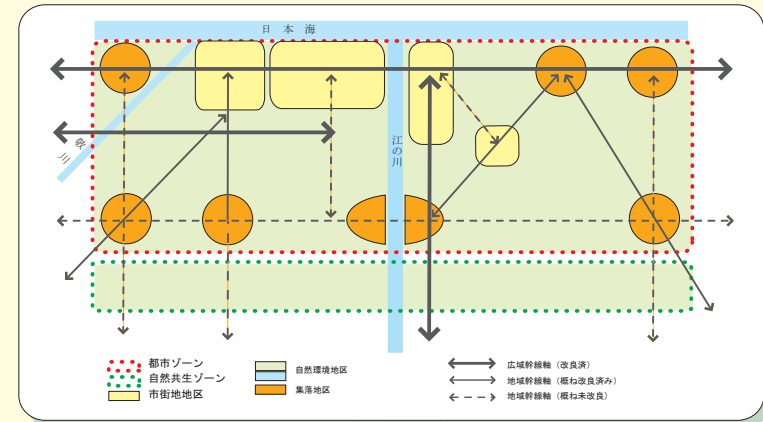
市民とともに築き上げるまちづくりの推進

将来の目標人口

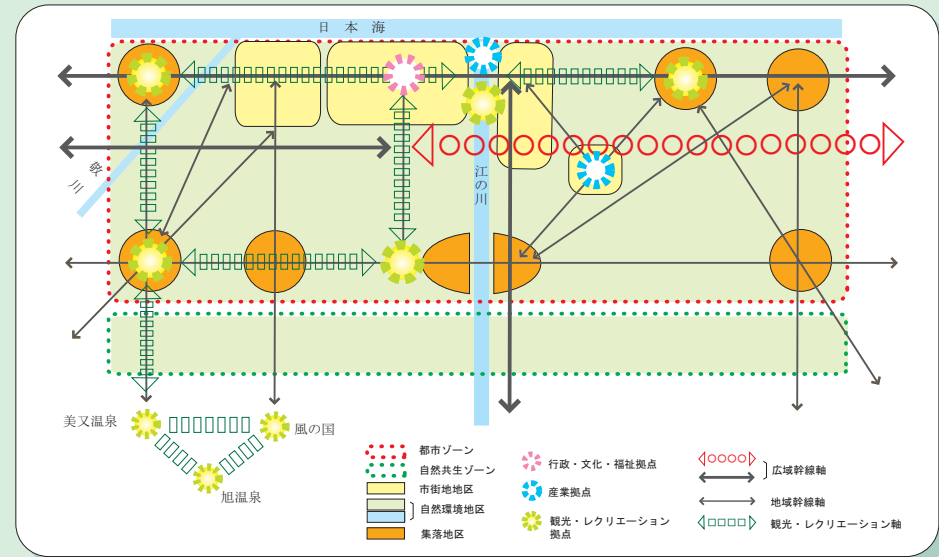
目標年次の2020年（平成32年）においては、都市環境整備などの推進により、適正な居住水準・住環境のもとで、概ね28,000人の市民が生活することができることを目指します。

都市構造

現状都市構造図



将来都市構造図



行政・文化・福祉拠点、産業拠点、観光・レクリエーション拠点といった各拠点を整備し、広域的な視点からのまちづくりを進めるとともに、周辺市町村とネットワークを図り、連携を強化します。

道路網の整備については、広域地域を視野に入れた東西交通をさらに強化するとともに、市北部に位置する市街地と市南部の山間部に位置する集落地との連絡を強化する必要があります。また、市内外に点在する観光・レクリエーション拠点のネットワーク化を図り、更なる魅

力の向上を図ります。

一方、住環境の向上を目指して、各地区の特性に応じた都市施設の整備や狭隘道路の解消など生活道路の改善を図るとともに、みどりの保全や景観整備を図り、うるおいのある魅力的な都市環境づくりを進めます。

地域の特性に応じたまちづくりを進めるために、市域をいくつかのゾーンに分けて、それぞれが有機的に機能し、市全体が活き活きするようなまちづくりを推進します。